

第1章 序論

1. 1 アンケートの目的

徳山高専では、JABEE 受審を契機として平成 14 年度、平成 19 年度および平成 24 年度に、卒業生・修了生・企業等を対象としたアンケート調査を実施してきた。今回のアンケートは、令和元年度の「高等専門学校機関別認証評価」および令和 2 年度に予定されている JABEE 受審に必要な、本校の教育内容および成果のエビデンスを得ると同時に、定期的に本校の教育システムを点検するための「徳山工業高等専門学校教育点検アンケート」として実施されることになった。なお、本アンケートは本校総合企画室によって実施され、高等専門学校機関別認証評価第 5 小委員会によってアンケート結果が分析された。

1. 2 各アンケートの実施方法と概要

専攻科修了生および本科卒業生のアンケートにあたっては、高城会（徳山高専同窓会）の協力を得て、Web 上で実施した。以下に各アンケートの内容を示す。

（1）専攻科修了生アンケート

アンケートの内容と結果は付録に示す。対象は全専攻科修了生（平成 9 年 3 月修了～平成 30 年 3 月修了）499 名の内、連絡先が判明した 446 名であり、回答者は 33 名（回答率 7.4%）であった。

専攻科修了生アンケートは、以下の 7 つのパートで構成されている。

1. 個人情報に関する項目
2. 現在の状況に関する項目
3. 高専の教育に関する項目
4. 高専専攻科に関する項目
5. 学習・教育目標について
6. 徳山高専の将来像について
7. 夢や悩み

（2）本科卒業生アンケート

アンケートの内容と結果は付録に示す。対象は全本科卒業生（昭和 54 年 3 月卒業～平成 30 年 3 月卒業）4,668 名の内、連絡先が判明した 3,373 名であり、回答者は 242 名（回答率 7.2%）であった。

本科卒業生アンケートの質問項目は専攻科修了生アンケートと共通であるが、「4. 高専専攻科に関する項目」を除いた 6 つのパートで構成されている。

なお、専攻科修了生アンケートと本科卒業生アンケートは共に、前回（専攻科 14.9%、本科 11.6%）・前々回（専攻科 26.9%、本科 17.5%）のアンケート調査よりも回答率が低下している。前回のアンケート後の反省を受けて今回は Web アンケートとしたものの、実施時期が年度末の繁忙な 3 月であったこと、ならびにアンケート期間が短かったことにより回答率が低かったと考えられる。

(3) 企業アンケート

アンケートの内容と結果は付録に示す。対象は 999 の企業・事業所・地方公共団体その他で、回答は 253 件（回答率 25.3%）であった。

企業アンケートは、以下の 4 つのパートで構成されている。

1. 修了生、卒業生の採用状況
2. 高専の教育目標に対する意見
3. 専攻科修了生・本科卒業生の能力評価
4. インターンシップ制度と今後の採用について

1. 3 各章の概要

以下、第 2 章では専攻科修了生（以下、修了生）の現状について、第 3 章では本科卒業生（以下、卒業生）の現状について分析した。また、第 4 章および第 5 章では、企業から寄せられた修了生および卒業生に対する意見をそれぞれ分析した。第 6 章では、本校が掲げている 6 項目の教育目標について社会（企業等）の意見をまとめた。そして、第 7 章と第 8 章では、社会（企業等）や修了生・卒業生から寄せられた生の声をもとに、高専に何が求められているのかについて考察した。各章での主な分析内容を以下に掲げる。

第 2 章と第 3 章では、修了生・卒業生の現状をテーマに修了生および卒業生の各アンケートの結果から、以下の分析を行った。

- 1) 修了生・卒業生の就職先の傾向分析
- 2) 職場における修了生・卒業生の自己評価
- 3) 平成 24 年度に実施したアンケート結果との比較、検討

第 4 章と第 5 章では、修了生・卒業生に対する社会的評価をテーマに企業アンケートの結果から、以下の分析を行った。

- 1) 修了生、卒業生の勤務評価
- 2) 徳山高専の教育に対する評価
- 3) 大学生との比較
- 4) 高専生の英語について
- 5) インターンシップおよび今後の採用について

第 6 章では、本校の教育目標を評価するため、企業および修了生・卒業生アンケートの結果から、本校が現在掲げている教育目標の 6 つの項目について分析を行い、教育内容の満足度、教育目標の達成度を確認した。

第 7 章と第 8 章では企業、修了生そして卒業生の声から以下のような点についてまとめた。

- 1) 在学生へのメッセージ
- 2) 教員へのメッセージ
- 3) 高専教育への提言

(担当：張間)